

都市再生整備計画 フォローアップ報告書
下鈎甲地区

平成23年9月

滋賀県栗東市

1. 数値目標の達成状況の確認(確定値)

様式4 - 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見
				評価値	見込み・確定の別	目標達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性	
指標1	集落周辺部の交通量の低減	台/12h	4,000	3,000	3,509	確定 見込み		あり なし	3,616	H23年3月		一部路線について想定していた一方通行の交通規制の導入が困難になったため目標達成には至らなかった。 改善策はそのまま改善策に補強が必要新たに改善策をたてる	5つの調査地点のうち3調査地点については、概ね目標値以下の交通量に低減され、全体としても従前値を下回っており、一定の目的は達成したと評価しても差し支えないと考えられる。
指標2	通過車両の走行速度の低減	km/h	40	30	30	確定 見込み		あり なし		H 年月		改善策はそのまま改善策に補強が必要新たに改善策をたてる	交通社会実験を踏まえてハンブを設置したことにより、車両走行速度が低減した。
指標3	安全に歩ける道路率	%	20	60	60	確定 見込み		あり なし	60	H23年3月		改善策はそのまま改善策に補強が必要新たに改善策をたてる	視覚的な歩車境界明示による歩車共存道路化やカラー舗装により安全に歩ける道路が増加した。
指標4	良好な居住環境と安心への満足度	%	20	50	50	確定 見込み		あり なし	50	H23年3月		改善策はそのまま改善策に補強が必要新たに改善策をたてる	バリアフリー化公園や親水空間の整備、交差点改良等により、満足度が高まった。
指標5	地域コミュニティ活動の頻度	回/年	20	25	25	確定 見込み		あり なし	25	H23年3月		改善策はそのまま改善策に補強が必要新たに改善策をたてる	まちづくり活動の実施に伴い、住民のまちづくりに対する意識や地域への愛着が深まり、地域コミュニティ活動が増加した。
指標6	集落内道路における緊急車両の通過率	%	25	55	55	確定 見込み		あり なし		H 年月		改善策はそのまま改善策に補強が必要新たに改善策をたてる	交差点改良(隅切り設置)により、緊急車両が通過できる道路が増加した。

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2- から転記 全ての指標について記入

フォローアップの必要のある指標について記入

全ての指標について記入

様式4 - その他の数値指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見
				評価値	見込み・確定の別	達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性	
その他の数値指標1					確定 見込み				H 年月			改善策はそのまま改善策に補強が必要新たに改善策をたてる	
その他の数値指標2					確定 見込み				H 年月			改善策はそのまま改善策に補強が必要新たに改善策をたてる	
その他の数値指標3					確定 見込み				H 年月			改善策はそのまま改善策に補強が必要新たに改善策をたてる	

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2- から転記 全ての指標について記入

フォローアップの必要のある指標について記入

全ての指標について記入

2. 今後のまちづくり方策の検証

様式4 - 「今後のまちづくり方策」の進捗状況

事後評価シート 添付様式5 - に記載した 今後のまちづくり方策(事項)		実施した具体的な内容	実施した結果	今後の課題 その他特記事項
・成果を持続させるために 行う方策	車両走行速度抑制の持続	・自治会が主体となって、速度低減に効果的な啓発活動等を行う。	自治会役員を中心とするまちづくり組織(合同委員会、小委員会(みち委員会、環境委員会、交流委員会))において、自治会としての今後の取り組みのあり方の議論を継続しているが、具体的なルールや協定等の締結には至っていない。	自治会を中心とする地域住民の主体的な活動としての対応が基本であるため、自治会のまちづくり組織による検討の継続を誘導・支援する必要がある。
	安全に歩ける道路率や緊急車両の通過率の維持	・自治会が主体となって、自治会内における通行ルールを検討する。		
	良好な居住環境と安心への満足度の維持	・自治会が主体となって、更に居住環境を高めるため建築協定や緑地協定、景観協定等の導入を検討する。		
	地域コミュニティの維持・強化	・今回の取り組みによって増加した地域コミュニティ活動を、楽しみながらまちの環境を定期的に確認したり維持・管理を行なうこと等を通して、継続化させることを推進する。		
改善策 ・まちづくりの目標を達成するための改善策 ・残された課題・新たな課題への対応策 ・その他 必要な改善策	通過交通量や車両走行速度の抑制	・自治会が主体となって、効果的な啓発活動や自治会内における通行ルールづくりを検討する。	自治会役員を中心とするまちづくり組織(合同委員会、小委員会(みち委員会、環境委員会、交流委員会))において、自治会としての今後の取り組みのあり方の議論を継続しているが、具体的なルールや協定等の締結には至っていない。	
	安全に歩ける道路率や緊急車両の通過率の向上	・自治会が主体となって、自治会内における通行ルールを検討する。		
	良好な居住環境と安心への満足度の向上	・自治会が主体となって、更に居住環境を高めるため建築協定や緑地協定、景観協定等の導入を検討する。		

事後評価シート 添付様式5 - から転記

様式4 - フォローアップにより新たに追加が考えられる今後のまちづくり方策

追加が考えられる今後のまちづくり方策	具体的内容	実施時期	実施にあたっての課題 その他特記事項